



初ノ一

小松姫

演舞や談話が人気です
景義 扇の舞や刀を使った「殺陣」など、7、8種類をお披露目しておるぞ。
初 私は忍びの者ですが、現世では舞踊を学び、華やかに皆を楽しませる舞を修行していますう。
景義 現在、武将隊は12人。それぞれが趣向を生かした舞の技巧を、日々磨いておる。併せて、皆の者との交流を大事にしており、我々を身近に感じてもらうことも観光PRの使命と思っておる。
初 景義さまが司会で私たちに話を振るのですが、打ち合わせがないことも多いのでびっくりするのですよ。
景義 皆の話を上達させる修行のうちじゃ。例えば「今日は沼田公園の桜まつりだから、御殿桜にゆかりのある内

容で語ろう」とテーマだけは決めておく。あとは観客の様子やその場の雰囲気を感じながら、話を進めていくのがわしの様式になっておる。
初 話術の修行を重ねてきたおかげで、自分の個性を生かしながら、自然な形でお客様さんたちと交流できるようになったと感じていますう。



写真上) FM ラジオ「上州真田武 SHOW たいむ」での和やかな様子 下) JR 沼田駅にて、SL 到着のお出迎えに出陣

初 月に1回、沼田公園で演舞を披露する予定ですう。
景義 我々の拠点の沼田公園から大正ロマンエリアの街中まで、皆を案内しおもてなしを拡大していきたい。園内の武将隊グッズを扱う「松之屋」にも気軽に立ち寄ってもらい、公園からにぎわいを発信できたらかくも素晴らしいことなり。

沼田への思いや今後の活動は
初 沼田に長くおりますので、居心地良いですねえ。人と地域との結びつきを大切にしたい、良き絆でつながれるまちが理想ですう。
景義 沼田氏が代々治めてきた土地だから、わしの愛着は強いぞ。住人や訪問者に「沼田は良いところ」と思ってもらうことが何より嬉しいな。



ご当地キャラで魅力発信



イラストレーター sinobu さん

柔らかいタッチに癒やされる人も多く、これまで描いた歴史上の人物は約20。真田氏などのご当地キャラクターや沼田城を描く sinobu さんは、本市を拠点に活動しているイラストレーターです。

子どものときから絵を描くことが好きで、『まんが 沼田の歴史』に登場する小松姫に夢中になったことから、地元の歴史人物をキャラクター化したといいます。2012年からは沼田の歴史や観光の魅力を伝える「信之・小松姫プロジェクト」を始動。イベントや沼田公園の様子などをSNSでつぶやく小松姫のキャラクターは、親しみやすいと人気です。

最近では、地元企業や寺社とコラボレーションする機会も増えてきたそ

うで、今後の目標は小松姫をインフルエンサーにすること。「キャラクターを通して、多くの人々が沼田に興味をもってもらえれば」と笑顔を見せます。

キャラクターは武将印やステッカーなどのグッズにもなり、沼田公園内にある松之屋で販売しています。



1. 月限定で販売される武将印 2. 沼田名物みそまんじゅうを持つ小松姫のステッカー 3. 真田氏の家紋「六文銭」をあしらったお守りは、手作り体験もできる